

- 問1 中国北部の華北平原から北京周辺にかけての地域では、降水量が比較的少ないという気候的特徴があります。この地域で盛んに生産され、麺類や饅頭（まんじゅう）といった主食の原料として広く利用されている作物を次の中から選びなさい。（2017年 群馬県公立入試 類似）
1. 小麦
 2. 米
 3. 茶
 4. さとうきび
- 問2 釜山港が国際的な物流拠点として急速に発展した背景について、地理的および政治的な理由を組み合わせた説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
1. 経済大国を最短距離で結ぶ大圏航路上の好位置にあり、ハブ港を目指す国家事業として整備されたため。
 2. 広大な背後地を持ち、内陸水路と海運を結びつける河口港として古くから整備されてきたため。
 3. 原油の輸出拠点として、砂漠地帯の沿岸を大規模に埋め立てて中継貿易の拠点としたため。
 4. ヨーロッパとアジアを結ぶ運河の入り口に位置し、船舶の通行料によって港湾機能が拡充されたため。
- 問3 世界の主要な農作物の生産量を示した統計において、中国の生産量が約2億トンと突出しており、アメリカ合衆国の約838万トンやブラジルの約1,037万トンを大きく上回っている穀物はどれですか。（2022年 福岡県公立入試 類似）
1. 米
 2. 小麦
 3. トウモロコシ
 4. 大豆
- 問4 東南アジア諸国の食文化について紹介した資料において、ある国では「米の粉から作った麺をスープに入れて食べる料理」が代表的な伝統料理として記載されています。この国はどこですか。（2019年 鳥取県公立入試 類似）
1. ベトナム
 2. フィリピン
 3. インドネシア
 4. 東ティモール
- 問5 世界の農産物統計において、アジア州が占める割合が極めて高く、世界全体の生産量の約9割に達している農産物の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）
1. 米と茶
 2. 小麦ととうもろこし
 3. コーヒーとカカオ
 4. 綿花と大豆
- 問6 太平洋を取り囲むアジア、オセアニア、北米、南米の国や地域が参加し、地域全体の持続的な成長と経済的な結びつきを強めることを目的として、日本も加盟している国際的な協力枠組みを選びなさい。（2014年 兵庫県公立入試 類似）
1. ASEAN（東南アジア諸国連合）
 2. APEC（アジア太平洋経済協力会議）
 3. WTO（世界貿易機関）
 4. NAFTA（北米自由貿易協定）
- 問7 アジア州の地形や位置関係を説明した次の文のうち、北緯20度の緯線が通過する地域の説明として、最も適切なものはどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）
1. サウジアラビア南部、インド南部、ミャンマーなどのインドシナ半島北部を通過している。
 2. トルコ、イラク、イランなどの西アジア北部から、ヒマラヤ山脈の北側を通過している。
 3. スリランカやマレー半島、インドネシアの諸島など、赤道に近い地域を通過している。
 4. 日本列島の中央部から中国の黄河流域、中央アジアの乾燥帯を通過している。
- 問8 アジアの諸国には、その土地の資源や人口に応じた多様な産業構造が見られます。人口密度が1平方キロメートルあたり約15人と非常に低く、輸出額の7割以上を原油が占めている国々が位置する地域として、最も適切なものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）
1. 西アジア
 2. 南アジア
 3. 東アジア
 4. 東南アジア
- 問9 東南アジアのインドシナ半島東側に位置する国で、1976年の南北統一後、共産党大会において社会主義体制のもとで工業発展を目指す経済路線を採択した国はどこか、次の中から選びなさい。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
1. ベトナム
 2. タイ
 3. フィリピン
 4. インドネシア
- 問10 中国の農業において、北京周辺に広がる華北平原からさらに北の東北地方にかけての、降水量が比較的少なく寒冷な気候条件を持つ地域で、主に行われている農業の形態と作物の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2017年 山口県公立入試 類似）
1. 小麦の畑作
 2. 稲の稲作
 3. とうもろこしの二期作
 4. 綿花の灌漑農業
- 問11 東南アジアの諸国を比較した統計資料において、日本の製造業の拠点数が急増しているベトナムの状況について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. タイよりも1か月あたりの平均賃金が高いため、富裕層向けのサービス業が進出している
 2. タイよりも1か月あたりの平均賃金が高いため、日本企業の進出数が増加傾向にある
 3. 熟練労働者が不足しているため、日本企業は工場を閉鎖してタイへ移転している
 4. 国内の市場規模が縮小しているため、日本からの直接投資額は年々減少している
- 問12 南アジア諸国の宗教 distribution（分布）について述べた文として、正しいものはどれか。ただし、インドはヒンドゥー教徒が多数派であるものとする。（2023年 岩手県公立入試 類似）
1. インドの西側に位置するパキスタンや、東側のバングラデシュでは、イスラム教徒が多数を占めている。
 2. インドの北側に位置するネパールは、世界で唯一キリスト教を国教とする国として知られている。
 3. 南アジアの島国であるスリランカでは、インドと同様にヒンドゥー教徒が人口の9割を超えている。
 4. 南アジア全域において、仏教が最も信仰されている地域は、パキスタンからアフガニスタンにかけての国境地帯である。
- 問13 中国の長江下流域から沿岸部にかけて広がる華中地域では、その自然環境を活かした食文化が発達しています。この地域の食文化の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）
1. 降水量が少なく乾燥した平原で栽培される小麦を原料とした、麺類やギョーザなどの粉もの料理が中心である。
 2. 長江などの大河川からもたらされる水資源を利用して生産された米や、豊富な魚介類を使った八宝菜などの炒め物料理が代表的である。
 3. 起伏の激しい高原地帯で行われる放牧によって得られる、羊の肉や乳製品を用いた料理が日常的に食べられている。
 4. 内陸の盆地特有の湿気を払うために、唐辛子や山椒などの香辛料を多用した刺激の強い味付けの料理が発展している。
- 問14 インドネシアや日本において、マグマの熱を利用する地熱発電に適した資源量が豊富である理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 奈良県公立入試 類似）
1. 環太平洋造山帯に位置しており、国内に多くの火山が分布しているため
 2. 安定陸塊に分類される地形であり、広大な露天掘り炭田が広がっているため
 3. 赤道付近に位置しており、年間を通じて日照時間が長く日射量が強いため
 4. 古期造山帯に属しており、なだらかな山地で風力が安定しているため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 小麦	中国の華北地方は、年間の降水量が少なく乾燥した気候であるため、稲作よりも畑作が適しています。特に小麦の栽培が盛んで、それを利用した麺類や点心などの食文化が発展しました。一方、降水量が多い中国南部（華南）では稲作が盛んで、米を主食とする文化が根付いています。
問2	答え 1 経済大国を最短距離で結ぶ大圏航路上の好位置にあり、ハブ港を目指す国家事業として整備されたため。	釜山港の発展には、球体である地球上の最短距離である「大圏航路」上に位置するという地理的メリットが大きく関わっています。韓国政府はこの立地を活かすため、国家的な物流戦略として最新鋭の設備を持つコンテナ埠頭を次々に建設し、国際貨物の物流拠点（ハブ港）としての機能を強化しました。他の選択肢は、ロッテルダム（河口港）やドバイ（砂漠の拠点）などの特徴を説明したものです。
問3	答え 1 米	アジア諸国は世界の米生産の大部分を占めており、特に中国は世界最大の生産国です。アメリカ合衆国やブラジルといった南北アメリカ大陸の国々でも生産は行われていますが、主食として大規模に栽培され、人口を支えているアジア諸国と比較すると、その生産量は限定的なものとなります。
問4	答え 1 ベトナム	ベトナムは米の生産が非常に盛んであり、米を原料とした「フォー」に代表される麺料理が国民食となっています。東南アジアの島嶼部（インドネシアやフィリピンなど）でも米は主食とされていますが、特に米の粉を加工した麺料理をスープとともに食べるスタイルはベトナムの文化を象徴する特徴です。
問5	答え 1 米と茶	アジア州の東部から南部にかけては季節風（モンスーン）の影響を強く受け、夏に高温多湿となるため、多量の水を必要とする稲作が非常に盛んです。また、丘陵地を利用した茶の栽培も盛んであり、米と茶はいずれもアジア州が世界生産の大部分を占めています。一方、小麦やとうもろこしは北アメリカやヨーロッパでも広く栽培されており、アジア州の占有率はこれほど高くありません。
問6	答え 2 APEC（アジア太平洋経済協力会議）	太平洋沿岸（環太平洋地域）の多様な国・地域が参加する経済協力の枠組みはAPECです。東南アジアの国々によるASEANや、北米3か国によるNAFTA（現在はUSMCA）、自由貿易のルールを定める世界規模のWTOと区別する必要があります。
問7	答え 1 サウジアラビア南部、インド南部、ミャンマーなどのインドシナ半島北部を通過している。	北緯20度線は、アジア大陸の南半分を横断する重要な境界の一つです。西ではアラビア半島の南部（サウジアラビアやオマーン）を通ります。南アジアではインド半島の南部を、東南アジアではインドシナ半島の北部（ミャンマー、ラオス、ベトナムなど）を貫いています。選択肢にある西アジア北部やヒマラヤ以北は北緯30度以上、日本列島や中国北部は北緯35度から40度付近、スリランカやマレー半島は北緯10度より南側の地域に該当します。
問8	答え 1 西アジア	人口密度が低く、輸出の大部分を原油に依存しているのは、サウジアラビアなどの西アジアの産油国の特徴です。これらの国々は乾燥帯に位置し、広大な砂漠が広がるため人口密度が低くなる傾向にあります。一方で、特定の資源の輸出に頼りすぎる経済構造（モノカルチャー経済に近い状態）からの脱却が課題となっています。
問9	答え 1 ベトナム	1976年に南北が統一されたベトナムでは、社会主義体制のもとで国家主導の経済発展を目指す「社会主義工業化」の路線が採択されました。インドシナ半島の東岸に位置する地理的特徴があり、西側のタイや島嶼部のフィリピンといった周辺国とは、当時の政治・経済体制が異なっていた点が重要です。
問10	答え 1 小麦の畑作	中国では、年間降水量がおよそ1000mmのライン（チンリン・ホワイ線）を境に、北側と南側で農業形態が大きく分かります。華北平原から東北地方にかけての地域は、南部に比べて降水量が少なく冬の寒さが厳しいため、水分を多く必要とする稲作ではなく、乾燥や寒冷な気候に強い小麦を中心とした畑作が伝統的に行われてきました。
問1	答え 2 タイよりも1か月あたりの平均賃金が安い ため、日本企業の進出数が増加傾向にある	ベトナムは東南アジアの中でも比較的賃金水準が低く設定されているため、コスト競争力を重視する日本企業にとって魅力的な投資先となっています。統計上も、賃金水準の低さと反比例するように日本企業の進出数が増加しており、これがベトナムの工業化を牽引する大きな要因となっています。熟練労働者の不足や市場規模の縮小といった事実は、現在の進出傾向を説明する理由としては不適切です。
問1	答え 1 インドの西側に位置するパキスタンや、東側のバングラデシュでは、イスラム教徒が多数を占めている。	南アジアはかつてイギリス領インドとして統治されていましたが、独立の際に宗教的な対立から、ヒンドゥー教徒が多数派のインドと、イスラム教徒が多数派のパキスタン（後のバングラデシュを含む）に分かれた経緯があります。スリランカやブータンでは、仏教徒が多くなっています。
問1	答え 2 長江などの大河川からもたらされる水資源を利用して生産された米や、豊富な魚介類を使った八宝菜などの炒め物料理が代表的である。	長江の下流域を中心とした華中地域は、温暖湿潤な気候と豊かな水資源に恵まれています。この環境を利用して稲作（米の生産）や淡水魚の漁業が盛んに行われてきたため、米を主食とし、魚介類や農産物を具材とした八宝菜のような炒め物料理が独自の食文化として定着しました。小麦中心の華北や、羊肉を用いる内陸部、香辛料を多用する四川盆地などとは異なる特色を持っています。
問1	答え 1 環太平洋造山帯に位置しており、国内に多くの火山が分布しているため	地熱発電は、地下のマグマの熱によって温められた蒸気や熱水を取り出して発電機を回す仕組みです。そのため、プレートの境界にあたり火山活動が活発な「新期造山帯（環太平洋造山帯など）」に位置していることが、地熱資源を得るための重要な地理的条件となります。インドネシアや日本はこの条件に合致するため、世界有数の資源量を保有しています。